

用紙に書いた男女
たちの真っ白水着
の誓い 男女グル
ープが浜辺で・・・

街に・・・海に・・・

真っ白水着ではしゃぐパイパン女子た

ちの砂浜。

夏も近づく 6月の終わり・・・・・・。

ひたすら楽しそうな真っ白水着の男女
たちだが、時の流れかはたまた運命
か・・・・・・

太ももとお尻がムッチムチの女子たちが、

モッコリ男子たちと一緒に海辺に落ちていた木の看板に・・・・・・・・

“水着の誓い”

をしたためた・・・・・・・・。

それは真っ白水着のことである……。

海岸の小さなビジネスホテルに体験の
ような一泊をしていた男女グループ7
人がいた。

ちなみに海沿いの道路を西へ進むと、

小さな有人駅とその前に残っている少しだけ古いアーケードの繁華街がある。

仕事の出張や、主に30代から40代の
エッチ盛りの男女たちの大乱交パーティー
などで使用されるなど、

・・・主にラブホテルに近いそのホテル。

受付の男性は言った。

「横に新しい綺麗なホテルが出来る予定なんですが・・・・」

そのホテルは近々閉店するらしく、オーナーなどは地元の田舎町で別のことをする予定らしい・・・・。

深夜 2 時。

波音がかすかに届くホテルの中くらいの階で・・・・

男女 6 人がハダカになっていた。

急遽 2 組が別の予定が入ってこの浜辺
には来れないと L I N E が入っていた。

夜。

6 人はホテルでずっと舐め合っている。

そして海へ出る。

．．．．ハダカで．．．．男女たちは自

分たちだけの誓いを白い水着で綺麗に
書き上げた。

・・・・それはすっぽんぽんの男女たちの夏の始まりを告げる合図であった。

ホテルで一泊してたっぷりエッチした
あと、男女たちは一旦故郷の街へ戻る。

．．．．．波打ち際に破れた浮き輪が一
つ。

砂がたくさんついている・・・・・・・・。

・・・・・・・・。

その頃・・・・戻った男女6人すっぽんぽんグループは街の公園の近くの小さなカフェで次の海辺への旅行の打ち合

わせをしていた。

場所の海は以前と同じである。

「・・・・・・・・でさ、さっそくなんだけど
つつ！！」

小指を上唇に当て、サユナが頬を赤くする。

既に浜辺乱交への想像が膨らみ、体中が火照っているのだ。

海は街からは遠くバスを乗り継がなくてはならない。

・・・・・・・・ストローを咥えて

・・・・・・・・ムッチムチの太ももジーンズで
サユナの向かい側の席で足を組むエナ。

ふとカフェ横のガラス張りの木のテラスを見た。

．．．．いつもの街。

繁華街からは少し離れた閑静な住宅街
の一角。

「夏も近いからさ．．．．．はやく計画
立てようよ．．．．．」

エナは男子たちとのセックスで成長したお尻と太ももの辺りをジーンズ越しに掌でさすった。

だからちゃんと計画を立ててじっくり

真っ白の水着で臨まなくてはならない。

自分たちの大切なセックスに向けて・・・。

・・・・・・・・・・。

場所は変わり・・・・・・・・。

丁度同じ時間帯、となり街で二組のカップルが手を繋ぎ歩いていた。

最初の一泊の海辺旅行の際、LINEで来れなくなった二組とはまた別である。

（体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました）